

## 19 第 3 回 9 月 難関大記述模試 生物 採点基準

## 【採点方法】

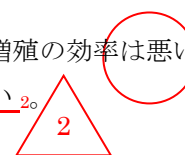
1. 正解の場合…○をする。
2. 一部正答の場合
  - ①加点ポイントに下線を引く。
  - ②加点する点数を下線の最後に書く。
  - ③△とし、点数を△の中に書く。
  - ④減点箇所は (−1) と書く。

《例》4 点満点の場合

(正答) 有性生殖は、無性生殖に比べ、遺伝的な多様性は生じやすいが増殖の効率は悪い。

(一部正答) 有性生殖は、無性生殖に比べ、遺伝的な多様性は生じやすい。

3. 不正解の場合…×をする。



## 【統一事項】

## 1. 空欄補充問題

## (1) 誤字について

- ・生物学用語について誤字・脱字がある場合→0 点
- ・教科書で一般に漢字表記の用語をひらがなで書いてある場合  
→赤で訂正して点を与える
- ・不要な要素を含んで解答した場合→0 点

例) 腺という →内分泌○, 内分泌腺×

- ・生物学用語で複数の表記, カタカナ表記の異体がある場合は, それぞれ正解とする (表記については教科書または生物学辞典を参照する)。

例) 腎細管 (renal tubule) ○, 細尿管○, 尿細管○

チロキシン (Thyroxine) ○, サイロキシン○, 甲状腺ホルモン○

## 2. 記述（論述）問題

## (1) 論述内の誤字について

- ・生物学用語についての誤字がある場合  
→赤で訂正して誤字 2 つにつき -1 点  
ただし、ひらがなで正しく書けている場合は、正解とする（赤で訂正を入れるのみ）
- ・一般の誤字がある場合→赤で訂正して減点はしない  
ただし、あまりに多いようであれば適宜減点する。

## (2) 字数について

- ・5 字以内の字数オーバー→減点はしない（赤でコメント入れる）
- ・6 字以上の字数オーバー→-1 点（赤でコメント入れる）
- ・字数が指定より極端に少ない場合→内容に応じて部分点を与える

## (3) 設問文中で用語指定がある場合

- ・指定の用語が使用されていない場合→用語 1 語につき適宜減点する

## (4) 加点ポイントについて

- ・加点ポイントで重要な用語が抜けている場合は、加点しない。
- ・加点ポイント以外の部分で、誤った内容が記述されていても、減点しない。ただし、加点ポイントの内容がいずれも正しく満点になってしまう場合には、誤った内容部分に下線を引き、下線の最後に小さい×をつける。全体では△とし、満点の点数を△の中に書く。

《例》4 点満点の場合

(正答) 有性生殖は、無性生殖に比べ、遺伝的な多様性は生じやすいが増殖の効率は悪い。

(誤りを含む正答) 有性生殖を行う生物は、増殖効率は悪いが、遺伝的に多様なので絶滅しない×。

4

- ・作用機序や現象が起こるしくみを説明する問題では、加点ポイントがすべて正しく書けていても、作用の順序が正しくない場合は、加点しない。

例) A~D 順の作用機序を、A→B→D→Cの順で書いた場合、D→C部分は加点しない。

- ・文章が未完成の場合でも、加点ポイントの記述があれば、加点する。未完成部分は、減点しない。（ただし、満点にならないように考慮すること）
- ・明らかに文章として成立していない、意味が通らない、論理が成立していない部分は、加点・減点の対象としない。

## 3. 選択肢 (番号で解答する問題)

(1) 解答数の支持がある場合 (「…1つ選べ」, 「…2つ選べ。ただし, …」など)

ア. 指示された数よりも解答数の多い場合→正解を含んでいても 0点

例 『…2つ選べ。』(aとcが正解)となっているのに解答が3つならば

→ 『a, ~~b~~, c』として, 0点とする。

イ. 指示された数以内の解答の場合→正解があればそれに応じて点を与える。

例 『…2つ選べ。』(aとcが正解「各1点 計2点」)となっているのに解答が1つならば → 『a』として, 1点与える。例 『…2つ選べ。』(aとcが正解「完全解答 2点」)となっているのに解答が1つならば → 『~~a~~』として, 0点とする。

(2) 解答数の指示がない場合 (「…すべて選べ」など)

ア. 解答数が正解数と同じか, 正解数より少ない場合→正解に応じて点を与える。

例 正解数が3つ(a, c, dが正解「各1点 計3点」)の場合に, 解答が2つならば

→ 『a, ~~b~~』として, 1点与える。イ. 解答数が正解数より多い場合→正解数以上の解答1つにつき, 0点まで1点減点する。

例 正解数が2つ(a, cが正解「各1点 計2点」)の場合に, 解答が3つならば

→ 『a, ~~b~~, c』として, 1点減点して1点与える。

例 正解数が2つ(a, cが正解「各1点 計2点」)の場合に, 解答が5つならば

→ 『a, ~~b~~, c, ~~d~~, ~~e~~』として, 2点減点して0点とする。

## 【大問別補足事項】

1

## 問 1

(2) 1 点 (20 字以内)

(正答例) つぼみの細胞は葉の細胞よりも小さい。(18 字)

・「葉の細胞はつぼみの細胞よりも大きい。」でも可。

## 問 2

(3) 4 点 (50 字以内)

(正答例) ①2 本鎖 DNA を構成する 1 本鎖のそれぞれを鋳型にして, ②相補的な塩基配列をもつ新しい鎖が合成される。(48 字)

・下線部①・②について 2 点ずつ与える。

・下線部②: 「新しい鎖」は「新生鎖」, 「ヌクレオチド鎖」, 「1 本鎖」等でも可。

(別解)

・「もとの DNA の 2 本鎖のうち一方のヌクレオチド鎖が, 複製された DNA にそのまま受け継がれる。」「複製された DNA は, もとと同じ塩基配列をもち, 鋳型鎖と新生鎖の組み合わせでできている。」等, 半保存的複製の意味について書いてある解答でも可。

## 問 3

(1) X: 「mRNA」, 「伝令 RNA」は不可。

(2) 「中心ドグマ」, 「中心教義」は訂正して可。

(3) 2 点 (30 字以内)

(正答例) ①RNA の塩基配列が②タンパク質のアミノ酸配列に変換される。(28 字)

・下線部①・②について 1 点ずつ与える。

(別解)

「RNA の 3 塩基(コドン)が 1 種類のアミノ酸または翻訳停止を指定する。」等でも可。

2

問 1

- 1: 「蔵精器」は訂正して可。
- 2: 「蔵卵器」は訂正して可。
- 4: 「原葉体」は訂正して可。

問 3 3 点 (50 字以内)

(正答例) 被子植物では, ①精細胞が花粉管内を通って卵細胞まで運ばれるので, ②受精に水が  
不要であるから。(44 字)

- ・下線部①について 1 点, 下線部②について 2 点与える。
- ・下線部①: 「コケ植物やシダ植物の受精には水が必要」という内容でも可。
- ・下線部②: 「被子植物の受精には水が不要」という内容が書けていれば可。「乾燥条件下でも受精が可能」は 1 点与える。

3

問 2 3 点 (30 字以内)

(正答例) 筋肉は, ①閾値がそれぞれ異なる②多数の筋繊維からなるから。(27 字)

- ・下線部①について 2 点, 下線部②について 1 点与える。
- ・下線部①: 「個々の筋繊維によって閾値が異なる」という内容が書けていれば可。
- ・下線部②: 「筋肉は筋繊維の束からなる」等の表現でも可。

問 4

- 6: 「I 帯」は訂正して可。
- 7: 「A 帯」は訂正して可。

問 6 単位「 $\mu\text{m}$ 」がない場合は訂正して可。

- (a) 「 $1\mu\text{m}$ 」は 1 点。「小数第 1 位まで答えよ」という設問文の指示に従うようコメント入れる。

4

問 1

- 2: 「先天性免疫」は訂正して可。
- 3: 「後天性免疫」は訂正して可。
- 7: 「インターリューキン」は訂正して可。
- 8: 「プラズマ」は訂正して可。
- 9: 「ヒト免疫不全症候群ウイルス」は訂正して可。
- 10: 「免疫トレランス」は訂正して可。

問 2

(2) 3 点 (40 字以内)

(正答例) ①体内に多量の抗体が残っているので, ②ウイルス量は初回感染時ほど増加しない。  
(36 字)

- ・下線部①について 1 点, 下線部②について 2 点与える。
- ・下線部②: 「ウイルス量はすぐに減少する」という内容でも可。

(3) 4 点 (70 字以内)

(正答例) ①二次応答が起こるので, ②体液性免疫の強度は初回感染時よりも大きくなり, ③ウイルス量は一時的に増加したのちに④初回感染時よりも速やかに減少する。(68 字)

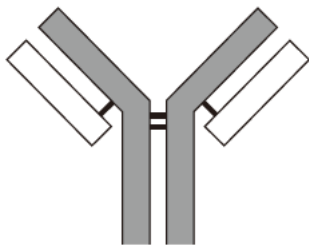
- ・下線部①~④について 1 点ずつ与える。
- ・下線部①: 「免疫記憶が成立している」, 「記憶細胞が残っている」等でも可。
- ・下線部②: 「体液性免疫の強度は初回感染時よりも早く上昇する」でも可。
- ・下線部③: 「ウイルス量はあまり増加しない」等でも可。

問 3

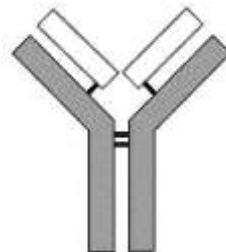
(1) 「イムノグロブリン」, 「Ig」は訂正して可。

(2) 2 点

(正答例)



(別解)



- ・L鎖が正しく描けていれば 1 点。
- ・S-S 結合が 4 か所正しく描けていれば 1 点。